

2006年4月1日～2018年3月31日の間に
当科においてCTガイド下傍大動脈リンパ節生検を受けられた方へ
—「傍大動脈リンパ節に対するCT透視ガイド下生検の後方視的検討」へご協力のお願—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 金澤 右

研究責任者	岡山大学病院	放射線科	助教	富田 晃司
研究分担者	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	放射線医学	准教授	平木 隆夫
	岡山大学病院	放射線部	講師	生口 俊浩
	岡山大学病院	放射線科	助教	松井 裕輔
	岡山大学病院	卒後臨床研修センター	助教	宇賀 麻由
	岡山大学病院	放射線部	助教	正岡 佳久
	岡山大学病院	放射線科	医員	小牧 稔幸
	岡山大学病院	放射線科	医員	岡本 聡一郎

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

最近、画像検査によって腹部大動脈の近傍にリンパ節腫大が発見されることが増えてい
ます。このようなリンパ節は画像のみからは診断が難しいことが多く、結節の組織を直接取っ
てきて診断をつける必要があります。このための方法として、CT画像を見ながら針を刺して
組織を取る方法（CTガイド下生検）がありますが、大動脈に近い場合、針で安全に刺すこと
が難しく、開腹手術が必要となることが懸念されます。最近の報告では腹部大動脈近傍のリ
ンパ節でもCTガイド下生検で診断がつく可能性が示されていますが、診断成績について多数
例での検討はいまだに十分にはなされていません。この研究は、岡山大学病院放射線科にお
いて、腹部の大動脈近傍のリンパ節に対してCTガイド下生検を受けた患者さんを対象とし、
その成績を検討することを目的として行われます。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究により、腹部大動脈の近傍にリンパ節腫大を有する患者さんがCTガイド下生検を
受けるべきかどうかを判断する上で根拠となる重要な医学的データが得られます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2006年4月1日～2018年3月31日の間に岡山大学病院放射線科において腹部大動脈近傍のリ
ンパ節に対してCTガイド下生検を受けられた方約30名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2019年12月31日

3) 研究方法

2006年4月1日～2018年3月31日の間に当院においてCTガイド下生検を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに生検手技や診断結果に関するデータを選び、診断成績や合併症の頻度に関する分析を行い、CTガイド下生検の有効性や安全性を調べます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別など
- ・ 病変サイズ、病変部位、その他生検手技に関連するデータ
- ・ 病理診断結果、対象病変の生検後の経過、最終診断など

7) 情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院放射線科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたまたは代諾者（ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人））のご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び研究の独創性の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することができますのでお申出下さい。また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたまたは代諾者が希望される場合に行います。

この研究の結果は氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報を分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2019年04月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院放射線科

所属：助教 氏名：富田晃司

電話：086-235-7313（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-235-7316